

平成29年度 「生活科・総合的な学習の時間」学習関連系統表（生保内小学校）



【学校教育目標】	夢に向かって やさしく！ かしこく！ たくましく！
【研究主題】	自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成 ～かかわり合いを通して学びを深めていく指導を通して～
【めざす子どもの姿】	めあてをもち、他とのかかわり合いを通して思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども



【生活科の研究主題】
思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わり、気付きの質を高め表現できる子どもを育てる指導の工夫

【具体的な施策】

- 認定こども園との連携を図り、実態把握をし、実態を踏まえた育成すべき力を具現化する。
- 気付きの質を高めることができるように、試行錯誤したり、繰り返してかかわったりすることができる活動や体験を設定する。
- 互いのよさや、気付きの違いや共通点を見い出せるように、伝え合いや交流する活動を充実させる。
- 子どもの思いを生かした単元構成の工夫と、多様な表現を引き出す指導方法を工夫する。

【いぬわし学習（総合的な学習の時間）の目標】
「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」
自分の生活と地域の自然や社会、人々とのかかわりを通して関心を持ち、自ら課題を見つけ、仲間と協力しながら、探求的な学習に取り組み、学び方やものの考え方を身に付け、ふるさと生保内に対する誇りと愛情を高め、よりよく生きようとする態度を育てる。

【いぬわし学習の重点】
ふるさと学習を中核に位置づけ、4年間を見通したふるさとにかかわる課題を学習する。

【育てようとする資質や能力及び態度】
「課題設定力」「課題探求力」「表現・伝達能力」（学習方法に関すること）「自己形成力」（自分自身に関わること）「学び合う力」（他者や社会との関わりに関すること）

【生保内中学校・総合的な学習の時間の目標】
活動の中から課題を見だし、解決に向けて主体的に行動し、学んだことを工夫して表現できる生徒の育成

【指導の重点】

- 体験を通して課題を見つけ解決する学習
- 「発見」→「探究」→「自立」という流れを意識した学習
- 学んだことを工夫して発表、表現する学習学年の発達段階を考慮し、学年単位の学習活動を展開する。



【主な学習内容（テーマ）】

（中学校「総合的な学習の時間」）

中学校 3年	発見 探究 自立	①東京への修学旅行を通して、他県や他地域への見聞を広げ、ふるさとを見つめ直す。 ②「高校体験入学」を通して、自分の進路を見つめ、将来の生き方を考える。
中学校 2年	発見 探究	①県庁所在地を訪問し、私たちの住む地域とのつながりを学ぶ。 ②「キャリア体験学習」や「上級学校訪問」を通して、働くことについて学ぶ。
中学校 1年	発見	①登山や植物観察等を通して、郷土の自然にふれ、郷土のよさを知り、郷土から学ぶ。 ②「身近な職業調べ」を通して、職業について学ぶ。

（小学校「総合的な学習の時間」）

小学校 6年	ふるさとと世界、そして未来へ 「ふるさと再発見！」「未来に目を向けよう！」	
小学校 5年	よりよいふるさとを求めて 「お米探検隊」「秋田の自然と触れ合おう」 「わたしたちの山、秋田駒ヶ岳」「これからのふるさとについて考えよう！」	
小学校 4年	ふるさとの今を見つめて 「発信しよう！ふるさとのよいところ」「1/2成人式をしよう」「福祉ってなあに？」	
小学校 3年	ふるさとのよさを見つけよう 「すてき発見、田沢湖！パートⅠ」「すてき発見、田沢湖！パートⅡ」「ありがとうを伝えよう」	

（小学校「生活科」）

* 総合的な学習の時間の内容につながるものを抜粋

小学校 2年	「どきどきわくわくまちたんけん（まちたんけんをしよう）」 「みんなでつかうまちのしせつ（電車にのってでかけよう）」 「もっとなかよしまちたんけん～おぼない大すき～（もういちどたんけんに行こう）」	
小学校 1年	「がっこうだいすき（こうていをたんけんしよう）」「なつだ あそぼう（おぼないこうえんであそぼう）」 「たのしいあきいっぱい（こうえんであきをさがそう）」	

*（だしのこ園）

* 保育課程・教育課程より関係のあるものを抜粋

年長児	身近な環境に進んでかかわり、季節や生活の変化に気付くとともにそれらを生活に取り入れようとする。 ・ 様々な事象にふれ、自分の生活の関連を考えたり、遊びを工夫したりする。 ・ 疑問にもったこと発見したことについて調べる。
-----	---